

平成30年度法人本部事業報告

【社会福祉法人ふじの園基本理念】

キリストの愛と光によって導かれた子どもたちの尊厳と幸福を目指します

1. 事業概況

核家族化や単親家庭の増加、共働き家庭の一般化などにより養育力の低下や育児の孤立化、児童虐待やいじめの問題、貧富の格差の問題、待機児童の問題等々子どもを取り巻く環境は厳しさを増しています。国では少子化対策や次世代育成支援、働き方改革、児童虐待対策等と次々と施策を打ち出し、それに伴う予算措置を講じています。当法人としても子どもを保育、養育している施設を経営していることから外部及び内部環境要因を洗い出し、当法人・施設としての強みを今後の事業経営に反映していきたいと考えています。

平成30年度の法人の主な事業としては、理事会を4回開催し一関藤保育園の改築工事の検討や諸規則及び諸規程の改正を実施しました。一関藤保育園の改築については、平成29年9月の臨時理事会を皮切りに基本構想やタイムスケジュール等の検討が始まり、本年度に入り改築案や事業収支、タイムスケジュール等の具体的な検討がなされました。予定では、令和元年6月から工事に着手し令和元年12月末の竣工を目指します。その後、現園舎の解体工事に入り令和2年3月までにすべての工事を終える予定です。併せて、令和2年4月より保育園から認定こども園へ移行する計画です。

一関藤の園については、「新しい社会的養育ビジョン」で示された施設の多機能化、高機能化、地域分散化を推進していくことが求められており、養育の質を確保しながら新しい社会的養育ビジョンへの対応を検討しているところです。課題として、職員の人員確保に苦慮している状況にあり人材の確保に向けた計画的な採用・研修・定着に向けた取組みの強化が求められています。

法人としては、一関藤保育園の改築工事及び認定こども園への移行の支援、一関藤の園については「新しい社会的養育ビジョン」への支援を実施していきます。法人全体としては、働き方改革への対応や人材の確保、教育の充実が挙げられ、今後とも社会の情勢、地域の福祉ニーズを的確に捉え法人・施設が一体となって事業を推進していきたいと考えています。

2. 理事会の開催状況

法人の業務が円滑に推進されるように必要に応じて理事会を次のとおり開催しました。

期日 開催数	出席者数	主 な 内 容
5月29日 定 時 (第1回)	理事6名 監事2名	主に平成29年度の事業報告及び決算報告並びに一関藤保育園の改築計画案、社会福祉充実計画変更案、経理規程の一部改正案等についての審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1. 報告事項 (1) 法人本部及び各施設に係る平成29年度資金収支予算の科目間の流用及び予備費の流用の専決処分について

期 日 開催数	出席者数	主 な 内 容
		<p>(2) 一関労働基準監督署による安全衛生指導結果と改善措置について</p> <p>(3) 平成 29 年度の各施設の苦情に関する報告について</p> <p>(4) 一関藤の園に係る入所児童の傷害事件について</p> <p>2. 決議事項</p> <p>(1) 平成 29 年度各事業報告及び各決算報告の承認について 監事監査報告</p> <p>(2) 社会福祉法人ふじの園経理規程の一部改正案の承認について</p> <p>(3) 一関藤保育園園舎改築工事について</p> <p>(4) 一関藤保育園園舎改築工事基本設計業務委託の実施期間の延長について</p> <p>(5) 社会福祉法人ふじの園社会福祉充実計画の変更案の承認について</p> <p>(6) 一関藤の園に係る園庭遊具設置の承認について</p> <p>(7) 平成 30 年度定時評議員会の招集案の承認について</p>
10 月 5 日 臨 時 (第 1 回)	理事 6 名 監事 2 名	<p>主に嘱託職員等給与規程の一部改正案、一関の園に係るヨゼフ寮の改修工事及び体育館の暖房設備の更新工事、資金収支補正予算案についての審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。</p> <p>1. 報告事項</p> <p>(1) 一関藤保育園に係る県南広域振興局指導監査課による指導監査結果と是正改善結果について</p> <p>(2) 一関藤保育園園舎改築工事基本設計業務の完了の報告・その他について</p> <p>(3) 一関藤の園に係る入所児童の傷害事件の審判の結果について</p> <p>(4) 一関藤の園に係る労基法是正（改善）報告書の提出について</p> <p>2. 審議案件</p> <p>(1) 一関藤の園及び一関藤保育園嘱託職員等給与規程の一部改正案の承認について</p> <p>(2) 一関藤の園に係る実習所（ヨゼフ寮）の改修工事について</p> <p>(3) 一関藤の園に係る体育館の暖房設備の更新について</p> <p>(4) 一関藤の園に係る平成 30 年度資金収支補正予算案の承認について</p>
11 月 16 日 定 時 (第 2 回)	理事 6 名 監事 2 名	<p>主に仮称「認定こども園一関藤保育園」園舎改築工事関連、就業規則、経理規程等の改正案、ハラスメント防止規程の制定、資金収支補正予算案等についての審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。</p> <p>1. 報告事項</p> <p>(1) 一関藤の園に係る県南広域振興局指導監査課による指導監査結果と是正改善結果について</p> <p>(2) 理事長の職務執行状況の報告</p>

期 日 開催数	出席者数	主 な 内 容
		<p>2. 審議案件</p> <p>(1) 仮称「認定こども園一関藤保育園」園舎改築工事に係る実施設計業者の選定について</p> <p>(2) 仮称「認定こども園一関藤保育園」園舎改築工事に係る資金収支計画案の承認について</p> <p>(3) 社会福祉法人ふじの園定款細則の一部改正案の承認について</p> <p>(4) 一関藤の園及び一関藤保育園の職員就業規則の一部改正案の承認について</p> <p>(5) 一関藤の園及び一関藤保育園の嘱託職員等就業規則の一部改正案の承認について</p> <p>(6) 社会福祉法人ふじの園ハラスメント防止等規程案の制定の承認について</p> <p>(7) 社会福祉法人ふじの園経理規程の一部改正案の承認について</p> <p>(8) 社会福祉法人ふじの園従業員懲戒審査委員会規程の一部改正案の承認について</p> <p>(9) 法人本部に係る資金収支補正予算案の承認について</p>
3月26日 定 時 (第3回)	理事6名 監事2名	<p>平成30年度資金収支補正予算案、平成31年度の事業計画案及び資金収支当初予算案、職員及び嘱託職員等就業規則の一部改正案等の審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。</p> <p>1. 報告事項</p> <p>(1) 理事長の職務執行状況の報告</p> <p>(2) 平成30年度一関藤の園に係る福祉サービス第三者評価受審結果について</p> <p>(3) 平成30年度一関藤の園に係る進学支援寄附金給付事業について</p> <p>(4) 一関藤の園に係る寄附金受入の専決について</p> <p>(5) 平成31年度の各施設の職員体制について</p> <p>2. 審議案件</p> <p>(1) 阿部成彬評議員の退任に伴う評議員候補者の推薦について</p> <p>(2) 平成30年度法人本部及び各施設に係る資金収支補正予算案の承認について</p> <p>(3) 平成31年度法人本部及び各施設に係る事業計画案の承認について</p> <p>(4) 平成31年度法人本部及び各施設に係る当初予算案の承認について</p> <p>(5) 平成31年度各施設拠点区分から法人本部拠点区分への繰入案の承認について</p> <p>(6) 一関藤の園及び一関藤保育園の就業規則の一部改正案の承認について</p> <p>(7) 一関藤の園及び一関藤保育園の嘱託職員等就業規則の一部改正案の承認について</p>

3. 評議員会の開催状況

法人の議決機関として評議員会を次のとおり開催しました。

期 日 開催数	出席者数	主 な 内 容
6 月 15 日 定 時 (第 1 回)	評議員 6 名 欠席 1 名	平成 29 年度の各事業報告及び決算報告、社会福祉充実計画変更案の審議について開催され、提案のとおり承認されました。 1. 決議事項 (1) 平成 29 年度各事業報告及び各決算報告の承認について (2) 社会福祉充実計画の変更について

4. 監事による監査

期 日	出席者数	主 な 内 容
30 年 5 月 22 日	監事 2 名	平成 29 年度事業・決算監査及び平成 30 年 3 月分の出納調査
30 年 8 月 31 日	監事 2 名	平成 30 年 6 月分の出納調査
30 年 11 月 26 日	監事 2 名	平成 30 年 9 月分の出納調査
31 年 2 月 22 日	監事 2 名	平成 30 年 12 月分の出納調査

5. 会計事務所による監査

監査実施者	主 な 内 容
熊谷税務会計事務所	毎月 1 回、拠点区分ごとに元帳及び月次試算表の精査 伝票と証憑書類の突合

6. 県南広域振興局による指導監査

実施日	対象施設	主 な 内 容
30 年 8 月 9 日	一関藤保育園	口頭指摘事項 1 件
30 年 10 月 10 日	一関藤の園	文書指摘事項 1 件・口頭指摘事項 3 件

一関藤の園については平成 30 年 12 月 19 日に県南広域振興局へ是正改善結果を提出しました。

7. 登記関係

登記日	主 な 内 容
30 年 6 月 28 日	資産総額の変更登記 平成 30 年 3 月 31 日変更 資産総額 16 億 4,611 万 4,932 を 16 億 8,053 万 7017 円に変更

8. 業務連絡会議及び研修

日 時	主 な 内 容	参 加 者
30 年 5 月 28 日	一関藤保育園園舎改築工事の打合せ 他	中西理事長他 6 名
30 年 10 月 4 日	指導監査結果と是正改善について 他	中西理事長他 6 名

日 時	主 な 内 容	参 加 者
30年 11月 15日	理事会の議案の説明 他	中西理事長他6名
31年 3月 25日	一関藤保育園園舎改築工事の打合せ 他	中西理事長他6名

9. 苦情解決に関する状況

	苦情受付担当者	苦情解決責任者	第三者委員	受付件数
法人本部	渡部 俊幸（法人事務局長） 石田 政彦（法人事務員）	中西 秀吉（法人理事長）	石津 幸作（民区区長） 鈴木美樹子（大学教授） 西田 泰樹（地域代表）	なし
一関藤の園	佐藤 道也（基幹的職員） 千葉 幸江（保育士）	渡部 俊幸（園 長）	小山 峯雄（地域代表） 狩原 光子（元教員）	7件
一関藤保育園	渡邊 久美子（副園長）	斎藤 志華子（園 長）	久保田文吾（歯科医師） 米田 剛史（公務員）	1件

10. 苦情解決処理状況の概要

事業所名	申出 人 数	人 員	苦情の内容（件数）				処 理 数		
			虐待・放 置・脅迫・ 詐欺等	ケアの内容 に関わる事 項	個人の嗜 好・選択に 関わる事項	その他	施設・事 業所内で 解決した もの	第三者委員 （会）の助 言等を得た もの	施設・事業 所内で解決 にいたらな かったもの
法人本部	0	0							
一関藤の園	7	7		7			7		
一関藤保育園	1	1		1			1		
計	8	8		8			8		

11. 情報公開

	役員 名簿	財 産 目 録	事 業 計 画 書	事 業 報 告 書	第 三 者 評 価 結 果	苦 情 処 理 結 果	貸 借 対 照 表	資 金 収 支 報 告 書	事 業 活 動 計 算 書
閲 覧	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホームページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広 報 誌 （一関藤の園）			○	○	○	○	○	○	○

12. 社会福祉充実計画の変更（平成29年度～平成33年度）

(1) 基本的事項

法人名	社会福祉法人ふじの園	法人番号	4005-05-000343					
法人代表者氏名	中西 秀吉							
法人の主たる所在地	岩手県一関市山目字館2番地5							
連絡先	0191-23-1544							
地域住民とその他の関係者への意見聴取年月日	平成 年 月 日							
公認会計士・税理士等の意見聴取年月日	平成30年 5月22日							
評議員会の承認年月日	平成30年 6月15日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	1か年度目 (平成29年度末現在)	2か年度目 (平成30年度末現在)	3か年度目 (平成31年度末現在)	4か年度目 (平成32年度末現在)	5か年度目 (平成33年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	232,000 千円	228,450 千円	228,450 千円	228,450 千円	0円	0円		0円
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)				▲228,450 千円	0円	0円	▲228,450 千円	
本計画の対象期間	平成30年7月～平成32年3月							

(2) 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
2か年度目						
	小計					
3か年度目	一関藤保育園園舎改築	社会福祉事業	新規	園舎の改築費用の一部	有	228,450千円
	小計					
合計						228,450千円

※ 一関市より承認社会福祉充実計画の変更の承認（平成30年6月28日付）

平成30年度一関藤の園事業報告

1. 一関藤の園基本理念・基本方針・養護目標

・社会福祉法人ふじの園基本理念

『キリストの愛と光によって導かれた子どもたちの尊厳と幸福を目指します』

・一関藤の園基本理念 『祈りと感謝の心』

私たちは、キリストの愛の精神に基づき、子どもの生命と人権を守り、自己実現と自立のために継続的な養育を通して子どもの最善の利益の実現をめざします

・養護方針

私たちは、日本国憲法、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法の精神を尊重しキリスト教の理念である愛と平和と平等をもとに子どもの育ちを保障し次に掲げる養護方針を実践します

- (1) 私たちは、家庭的養護と子ども一人ひとりのニーズに応じた養育をおこないます
- (2) 私たちは、子どもの発達を保障し自立支援の充実につとめます
- (3) 私たちは、子どもの心身の回復をめざした支援をおこないます
- (4) 私たちは、家族との信頼関係を築き連携・協働した支援をおこないます
- (5) 私たちは、継続的な支援と連携アプローチによる支援をおこないます
- (6) 私たちは、ライフサイクルを見通した支援をおこないます

・養護目標（めざす子ども像）

自己実現のために個性や可能性を最大限に発揮して未来を切り開く子ども

- (1) 『ありがとう』と言える子どもの育成
(素直に感謝の気持ちを表現できる子ども)
- (2) 『ごめんなさい』と言える子どもの育成
(素直に自分のおこないを振り返ることができる子ども)
- (3) 『お願いします』と言える子どもの育成
(良好な人間関係を築くことができる子ども)

2. 施設運営関係

- 1 計画の基本理念 「一人ひとりが活躍できる施設づくり～職員個々の職責を果たし組織としての相乗効果を高めます～」
- 2 計画の基本目標
 - (1) 施設運営管理関係「職員・利用者・地域の満足度を高める施設づくり」
 - (2) 養育関係「利用者の満足度を高める養育・支援の仕組みづくり」
 - (3) 人事・労務・研修関係「職員の働きがいを高める職場づくり」
 - (4) 機能強化「地域と連携し地域の福祉ニーズに応える施設づくり」

【平成 30 年度施設運営の総括】

平成 30 年度は、職員・利用者・地域の満足度を高める施設づくりを基本目標とし重点施策として、①「見える化」による業務改善、②第三者評価の継続的な受審、③家庭的養護推進計画の着実な実施、④事故防止と安全対策の体制の確立、⑤地域交流の促進と地域貢献活動の実施、⑥コスト管理と業務の効率化を掲げ事業を推進しました。

施設整備関係では、ヨゼフ寮（親子訓練室）の 2 階を改修し新たに浴室を設置し多目的に使用できるようにしました。又、体育館の暖房設備を夏場の暑さ対策も考慮し冷暖房設備に更新しました。安全対策としてフェンスの更新、階段等に手摺を設置しました。更に、児童等からの要望もあり遊具を 2 基設置しました。地域小規模児童養護施設「マリアホーム」については、住環境の改善を図ることから平成 31 年 2 月に賃貸物件を確保し 3 月に移転を完了しました。

第三者評価の受審結果については、共通評価基準充足率が 80.7%、内容評価基準充足率が 89.3%という結果でした。共通評価の特に評価の高い点として、「養育・支援の標準的な実施方法の文書化と実施」、改善が求められる点としては、「養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等に当たっての継続性の配慮」が挙げられました。内容評価の特に評価の高い点として、「子どもの行動上の問題及び問題状況への適切な対応」、改善が求められる点として、「職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して社会経験の拡大」が挙げられました。

事業の推進は、職員会議、主任会議、ホーム会議等により意見を集約するとともに目的に応じて 11 の委員会を組織し必要に応じて活動しました。平成 30 年度は新たに環境美化委員会を設置し施設内外の環境美化にも取り組みました。

地域貢献活動としては、社会福祉協議会と協働して困窮家庭への支援としての「あんしんサポート事業」や単親世帯を対象とした「こども食堂」への協賛、更に一関市の開催による福祉避難所の設置運営に関する会議において開設時の運営マニュアルの検討がなされました。

平成 30 年度は、里親支援専門相談員の配置による里親の支援、地域の困窮者支援など今後とも地域の福祉ニーズに対応した施設経営をしていきたいと考えています。

2-(1) 平成30年度の主な出来事

日 時	主 な 出 来 事
4月 1日	本園入所児童 39 名、地域小規模児童養護施設 6 名、計 45 名でスタート
4月 25日	消防機器点検
4月 26日	安全衛生指導（一関労働基準監督署）
4月 29日	園遊会
5月 9日	職員健康診断（予防医学協会）
5月 12日	胆江地区里親総会
5月 15日	開園記念日
5月 22日	法人監事による決算監査
5月 29日	法人定時理事会（事業報告・決算の承認他）
5月 30日	一関児童相談所との連絡会議
6月 4日	家庭的養護推進検討会（県）
6月 15日	法人定時評議員会
6月 20日	メンタルヘルス研修会 CAP職員ワークショップ
7月 26日	転地養護（～27日）
8月 18日	ライオンズ夏祭り
8月 21日	福祉避難所の設置運営に関する会議
9月 6日	第三者評価説明会
10月 5日	法人臨時理事会
10月 10日	県南広域振興局による指導監査
10月 23日	第三者評価訪問調査（～24日）
10月 25日	藤聖母園職員研修受入（～27日） 消防機器点検
11月 7日	一関児童相談所との連絡協議会
11月 15日	保健所の立入検査
11月 16日	法人定時理事会
12月 10日	家庭的養護推進検討会（県）
12月 14日	クリスマス会（25日 こどもクリスマス会）
1月 9日	入所児童の意見交換会（県）
1月 22日	家庭的養護推進に係るヒアリング（県）
2月 13日	エンジェルサポート巣立ちセミナー（20日）
2月 23日	両磐・胆江地区里親との交流会
2月 27日	卒業を祝う会（親交会）
3月 23日	新体制発表
3月 26日	法人定時理事会（事業計画、当初予算等の承認他）
3月 27日	地域小規模児童養護施設「マリアホーム」移転

2-2) 平成30年度の施設運営重点施策の自己評価

重点施策項目		評価	具体的な成果や問題点・課題
1	「見える化」による業務改善	B	各会議録、ユニット日誌、育成記録等の早期提出などにより情報の共有に努めました。行事等についても計画書から報告書まで改善点を含めて記録を整備しました。その他に処遇システムを有効に使いながら情報の共有を図りました。しかし、シフト制等により連絡等が不十分であったりすることも散見されることから今後も職員の意識付けを図る必要があります。
2	第三者評価の継続的な受審	A	第三者評価を受審し、共通評価基準充足率80.7%、内容評価基準充足率89.3%という結果でした。前回の受審と比べ共通評価は同率、内容評価は12.1%改善することができました。共通評価では「福祉人材の確保・育成」の評価が低いことから今後重点的に取り組む必要があります。
3	家庭的養護推進計画の着実な実施	B	家庭的養護推進計画第1期（平成31年度まで）について、地域小規模児童養護施設を1か所増やす計画ですが、賃貸物件が見つからず特に進展はありませんでした。マリアホームについて、賃貸物件の老朽化が課題となっていました。平成31年3月に転居することができました。今後は地域との新たな関係作りの構築を進めていきます。
4	事故防止と安全対策の体制の確立	B	リスクマネジメント委員会、安全委員会、性教育委員会が連動して事故防止や安全対策を組織的に進めました。ハード面では外部階段に転倒防止のための手摺を設置するとともに西側道路沿い、ヨゼフ寮前のフェンスを更新しました。死角及び危険箇所や遊具の点検を定期的の実施するとともに非常連絡体制の整備を図りました。
5	地域交流の促進と地域貢献活動の実施	A	地域との交流については、施設行事へ地域住民に参加を呼び掛けたり民区行事やスポーツ少年団活動については例年通りの取組みができました。施設が有する機能を地域に還元する取組みや地域のニーズに基づく公益的な活動については、困窮者対策としての「あんしんサポート事業」や「こども食堂」への協賛などに協力することができました。
6	コスト管理と業務の効率化	B	コスト管理については、水道光熱費や消耗品費等の節約に努めるとともに県内の児童養護施設の決算書を比較し、当施設の状況を把握し参考としました。今後、経営改善の基礎となる人材を確保し適正な人員配置を図りながら業務の効率化や改善を図ります。

※評価 A・・・十分な取組みができた B・・・ほぼ取組めた C・・・取組みが不十分であった

2-3) 会議・委員会の開催状況

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
職員会議	4/11	5/2	6/6	7/4	8/22	9/6	10/3	11/7	12/5	1/16	2/13	3/6	12
ケース検討会議	4/18	5/9 5/16				9/12		11/15					5
自立支援会議 (ホームは7、1月)											2/6 2/20 2/27		3
企画委員会	4/18	5/2	6/6 6/13	7/4	8/22	9/6 9/19	10/17	11/14	12/12	1/16	2/6	3/7	14
リスマネ委員会	4/25	5/23	6/13		8/29			11/14	12/19				6
給食委員会	4/25			7/18				11/21				3/20	4
安全委員会		5/16				9/26		11/21			2/20		4
感染症対策委員会		5/23			8/29					1/23	2/6		4
性教育委員会			6/13			9/19	10/11			1/23	2/27	3/14	6
苦情等解決委員会					8/24				12/10				2
広報委員会	4/18				8/22		10/24		12/5				4

※ 他に主任会議・ホーム会議・学習支援委員会・環境整備委員会を適宜開催

2-4) 関係機関との連絡会議等の状況

日時	機関名	参加職員	会議の内容
30.5.12	胆江地区里親会	1	総会に出席し意見・情報交換
30.5.30 30.11.7	一関児童相談所	25 16	入所児童について意見・情報交換
30.6.4 30.12.10	岩手県家庭的養護推進会議	1	岩手県家庭的養護推進計画の進捗状況等
30.6.13	岩手県福祉総合相談センター	11	入所児童について意見・情報交換
30.10.16	宮古児童相談所	5	入所児童について意見・情報交換
31.2.23	両磐・胆江地区里親との連絡会	5	里親と意見・情報交換
年2回	里親委託等推進委員会	2	里親委託推進の意見・情報交換
年3回	山目小学校との連絡協議会	関係職員	児童についての定期的な意見・情報交換
年3回	山目小学校評議員会議	1	小学校の運営等に関する意見・情報交換
年1回	一関市要対協代表者会議	1	保護児童対策の取り組み実績と今後の計画
年4回	一関市要対協実務者会議	1	要保護児童の状況等について
年3回	一関地区障害者地域自立支援協議会	1	こども支援部会としての活動
随時	一関清明支援学校他	関係職員	入所児童について意見・情報交換
随時	民区役員会・世話人会	1	民区の役員として役員会等に出席

2-5) 一時保護委託・子育て支援事業の利用状況

事業名	利用家族数	利用人数	利用延べ日数	事業内容
一時保護委託	3家庭 (4家庭)	3名 (5名)	39日 (76日)	一関児相からの一時保護委託
ショートステイ事業	5家庭 (6家庭)	8名 (6名)	16日 (31日)	短期間の宿泊を含む養育支援
トワイライト事業	0家庭 (0家庭)	0名 (0名)	0日 (0日)	一定時間の預かり

()内は前年度実績

2-6) 要望等解決事業の状況

要望・苦情内容	申 立 人					第三者への申立て
	小学生	中学生	高校生	その他	計	
他児への苦情・要望	1	1			2	0
設備等への苦情・要望						
職員への苦情・要望		2			2	0
養育・食事に対する苦情・要望		3			3	0
家族からの苦情・要望						
計	1	6			7	0

※ 要望ノートによる児童からの要望等の受付件数は608件 (前年548件)

2-7) 視察・見学者の状況

年月	所 属	人 数	備 考
30.06.25	北上市飯豊地区民生・児童委員	21	《見学の内容》 ・施設の歴史及び概要 ・建物及び設備の説明 ・入所児童の状況 ・施設からの要望等
30.07.05	専修大学北上福祉教育専門学校1年生	8	
30.09.25	一関市民事連協主任児童委員	25	
30.06.25	北上市飯豊地区民生・児童委員	21	
30.07.25	北上市飯豊地区民生・児童委員	21	
30.10.20	NHKスタッフ、奈緒(女優)	4	
30.10.25	児童養護施設藤聖母園	3	
30.11.01	児童養護施設大洋学園	8	
30.11.10	盛岡大学就職センター	3	
31.01.22	県庁子ども子育て支援課	2	
年 間	各学校実習生	49	
計		165	

2-8) 情報公開の状況

情報公開ツール	内 容	部 数
広報誌 いちのせき藤の園 2018年 5月号	園長所感、行事、平成 29 年度事業報告及び決算等 平成 30 年度事業計画 苦情事業	500 部
広報誌 いちのせき藤の園 2018年 10月号	園長所感、行事、ホーム紹介、行事紹介等	500 部
広報誌 いちのせき藤の園 2019年 1月号	園長所感、ホーム紹介、行事紹介等	450 部
ホームページ (www.fujinosono.or.jp)	施設概要、平成 29 年度事業及び決算報告 平成 30 年度事業計画、第三者評価結果等	

2-9) 実習生の受入状況

学 校 名	人数	実 習 期 間	実 習 内 容
東北文化学園大学(児童福祉司)	1	5 月 7 日～6 月 7 日	《研修内容》 ・児童援助技術の習得 ・施設見学 ・基本理念について ・児童福祉の動向について ・心理療法について ・ケースカンファレンス ・グループホーム見学 ・食育について ・家庭支援・里親について ・個別対応について ・安全委員会について ・看護師業務について など
専修大学北上福祉教育専門学校	1	5 月 7 日～5 月 16 日	
	2	6 月 1 日～6 月 10 日	
	2	12 月 5 日～12 月 14 日	
	1	1 月 15 日～1 月 28 日	
東北文化学園専門学校	1	5 月 14 日～5 月 26 日	
仙台青葉学院専門学校	2	5 月 27 日～6 月 6 日	
東北福祉大学(児童福祉司)	1	5 月 28 日～6 月 28 日	
〃 (保育士)	2	6 月 25 日～7 月 6 日	
〃 (インターンシップ)	1	8 月 7 日～8 月 9 日	
尚綱学院大学	4	6 月 11 日～6 月 20 日	
仙台医療福祉秘書専門学校	1	7 月 2 日～7 月 12 日	
修紅短期大学	6	7 月 15 日～7 月 25 日	
	6	7 月 26 日～8 月 6 日	
	3	8 月 17 日～8 月 28 日	
	3	9 月 3 日～9 月 14 日	
	1	9 月 18 日～9 月 27 日	
盛岡医療福祉専門学校	2	8 月 9 日～8 月 18 日	
宮城学院女子大学	2	8 月 20 日～8 月 31 日	
宮城誠真短期大学	3	9 月 1 日～9 月 11 日	
聖和学園女子短期大学	3	9 月 3 日～9 月 13 日	
会津短期大学(インターンシップ)	1	9 月 10 日～9 月 12 日	
〃	1	3 月 7 日～3 月 8 日	
盛岡大学	2	9 月 18 日～9 月 29 日	
盛岡短期大学	1	11 月 5 日～11 月 14 日	
東北女子短期大学	1	2 月 15 日～2 月 25 日	
平成 30 年度合計 受入校 17 校	54		
平成 29 年度合計 受入校 16 校	55		

2-10 ボランティアの受入状況

日 時	団体(個人)名	人数	活 動 内 容
年 間	高橋 竜	1	散髪
年 間	斎藤 成子	1	幼児との関わり
年 間	菅原 英雄	1	畑の管理
年 間	佐藤 公人	1	中学生の学習支援
年 間	市村 真菜	1	中学生の学習支援
年 間	遠藤 深雪	1	幼児との関わり
年 間	命のパン		パンや果物の支援 (毎週)
年 間	セブンイレブン中里店		年間を通しての食べ物の支援
年 間	小山 菊子		年間を通しての野菜等の支援
年 間	岡山友の会		手作りお菓子 (毎月)
年 間	伊藤 勝利		段ボールの回収
年 間	パーラーJ遊・ウインズ一関		お菓子の寄贈
年 間	J Aいわて平泉		野菜・果物等の寄贈、農業体験
30.04.22	いちご狩り招待		36名参加
30.06.17	みらいの森		スタッフとの交流会 (31名)
30.06.17	一関地区建築業組合		建具等の修理
30.07.22	プロレスリング FREEDOMS		プロレスの招待 (8名)
30.7.30~8.4	みらいの森		サマーキャンプの企画実施(児童 11名)
30.08.18	一関中央ライオンズクラブ	20	夏祭り、夜店(児童 47名)
30.09.02	丸山富仁他	14	バーベキュー
30.09.09	岩手県協同募金会		楽天イーグルス試合招待(児童 13名)
30.09.16	やまなか屋 一関支店		焼肉の招待 (児童 38名)
30.11.03	一関地区少年警察 VOL 協会		餅つき体験 (45名)
30.11.09	フィリップモリス・ジャパン	7	グラウンドの環境整美
30.12.05	一関地区遊技業協同組合	15	サンタニコラオのプレゼント
31.01.31	イオン一関店	6	節分の豆まき、ケーキ等の寄贈
31.2.3~4	花山青少年の家		スノーキャンプ(児童 21名)

(敬称は略) ※食料品、衣類、文具等の物品の支援は年間 202 件

2-11-① 安全・安心対策の安全・安心を守る取り組み

項目	内容
避難訓練	毎月1回、地震や火災を想定した消火訓練、避難訓練を実施。
近隣住民との防災訓練	近隣住民と防災訓練を実施し、非常食の試食等を行いました。
施設内外の危険箇所の点検	毎月1回、リスクマネジメント委員会による施設内外の危険箇所を点検し安全対策を講じました。
遊具の安全点検	毎月1回、リスクマネジメント委員会による遊具の安全確認を実施するとともに年1回、専門業者による遊具の安全点検を行いました。
非常食の備蓄	災害時に備え、非常食の備蓄を行いました。(120人分×3日分)
災害時の備品等の購入	災害時等に備え乾電池、救急セット等を購入しました。
CAPの子どもワークショップ	小学生を対象とした「安心・自信・自由」をキーワードに自分の身を守る方法等のワークショップを実施しました。
マニュアル等の見直し	防災関係のマニュアルをはじめ災害時の安否確認方法や連絡網の整備を行いました。

2-11-② 避難訓練の状況

月日	想定	参加者	目的
30. 4. 30	調理室からの出火	43	避難経路、幼児介助及び職員の役割確認
30. 5. 30	給食棟からの出火	17	平日の日中を想定した訓練
30. 6. 30	親子訓練室からの出火	36	放送の指示に従って落ち着いて避難する
30. 7. 19	東側ユニット2階からの出火	48	避難経路の確認しながら速やかな避難
30. 8. 24	機械室からの出火	47	平日の夜間を想定した訓練
30. 9. 18	震度5強地震給食棟からの出火	33	半年間の反省を踏まえた訓練
30. 10. 14	給食棟からの出火	31	避難経路の確認、速やかな幼児介助
30. 11. 17	親子訓練棟からの出火	43	身の安全の確保を最優先的に行う
30. 12. 28	東側ユニット3階からの出火	44	平日の日中を想定した訓練
31. 1. 15	震度4の地震後調理室から出火	53	ユニットごとに安全な場所を確認する
31. 2. 16	西ユニット2階からの出火	40	放送の指示に従って落ち着いて避難する
31. 3. 24	地震(震度5)後調理室からの出火	43	一年間の反省を踏まえた総合避難訓練

2-11-③ ヒヤリ・ハットの状況 (事故・怪我含む)

対象児	分類	ヒヤリ・ハット							合計
		本人の不注意	子ども同士	職員の不注意	車両自転車	設備の不備	経験不足	危険物	
幼児		4	12	33	2	0	0	1	52
小学生		12	17	11	4	1	1	4	50
中高生		9	7	1	2	0	0	0	19
職員		0	0	6	0	3	0	1	10
合計		25	36	51	8	4	1	6	131

2-12-① 施設の機能強化に向けた取り組み

	項目	評価	具体的な成果や問題点・課題
1	地域や関係機関とのネットワークの構築	A	一関市の要対協実務者会議や一関地区障害者地域自立支援協議会、一関市地域福祉計画推進会議等に職員が委員として入り、地域の福祉ニーズの把握とネットワーク作りを推進しています。又、今年度から里親支援専門相談員を配置し里親の支援等を推進しました。
2	福祉避難所としての体制と機能強化	B	平成 28 年 7 月に一関市と福祉避難所の協定書を締結しました。今年度は、一関市の主催で福祉避難所の設置運営に関する会議が開かれマニュアル等の検討がなされました。乳幼児等の受入れを想定した非常食や備品の備蓄に努めました。
3	あんしんサポート事業の参加	A	あんしんサポート相談員 4 名が社会福祉協議会から要請があれば相談に応じています。今年度は新規で 4 件の相談に応じ継続的に 2 件の支援を実施しました。又、市社協が主催するこども食堂に食材を提供するなど地域のニーズに応じた支援を実施しました。
4	災害派遣福祉チームの参加	C	現在、災害派遣福祉チームに 1 名の職員が参加していません。災害派遣の要請がありましたが、職員体制に余裕がなく派遣することができませんでした。今後、複数の職員を災害派遣福祉チームに参加させ、要請があれば派遣できるような体制を構築していきたいと考えています。
5	ボランティアや実習生の積極的な受入	A	例年同様、ボランティアや実習生を積極的に受け入れることができました。学習支援のボランティアをはじめ施設で必要としているボランティアを依頼することができます。実習生については、毎年 50 人前後の実習生を受け入れており、社会福祉を希望する学生を支援しています。

※評価 A・・・十分な取り組みができた B・・・ほぼ取り組めた C・・・取り組みが不十分であった

2-12-② 地域貢献活動の状況

項目	内容	件数
あんしんサポート事業	一関市社会福祉協議会との協働による生活困窮者への経済的支援等	6
こども食堂	単親家庭を対象としたこども食堂への食材等の提供	2
施設・設備の貸出	地域住民への体育館等の貸出	4
福祉避難所の指定	非常食の備蓄等 (120 人分×3 日分) 他	

3. 養育関係

平成30年度養育の基本目標 『利用者の満足度を高める養育・支援の仕組みづくり』

【平成30年度養育関係の総括】

平成30年度は、①こども本位の養育・支援の実践、②権利擁護の推進、③アセスメントと自立支援計画の有効活用、④学習・進学支援・進路指導等の充実、⑤専門職との連携とスーパービジョンの確立、⑥家族や里親への支援を重点項目に据えて養育支援に努めました。

第三者評価の内容評価では基準充足率89.3%という結果でした。特に評価の高い点として挙げられた「子どもの行動上の問題及び問題状況への適切な状況」については、専門職や安全委員会、性教育委員会が中心となり組織として細やかな対応ができました。

又、家族との調整を図る家庭支援専門相談員、家庭生活体験等の調整を里親支援専門相談員、心理療法担当職員が児童の心理療法をはじめ職員へのスーパービジョン、看護師が児童の健康管理、学習支援職員が小中学生の学習を担うなどそれぞれの専門職がユニット職員と連携しながら手厚い養育支援を実施できました。

高校卒業後の進学支援について、進学支援制度に一定の道筋ができたことから平成30年度についても2名の進学者を支援することになりました。他の高校3年生についても希望に沿った就職先に就職することができました。その一方で小学生及び中学生への学習支援に力を入れているところですが、学習意欲に欠ける児童もいることから早い段階での進路指導や個別的な学習支援の充実を図ることが求められています。

3-1) ユニットの編成（平成31年3月1日）

区 分	ホーム名	居室児童数		
		男	女	計
本 園	ミカエルホーム	6	0	6
本 園	フランシスコホーム	8	0	8
本 園	ガブリエルホーム	0	8	8
本 園	ルカホーム	1	6	7
本 園	ラファエルホーム	1	7	8
本 園	テレサホーム	8	0	8
地域小規模児童養護施設	マリアホーム	0	6	6
合 計		24	27	51

3-2) 平成30年度の養育関係重点施策の自己評価

	重点施策項目	評価	具体的な成果や問題点・課題
1	子ども本位の養育・支援の実践	A	子ども一人ひとりに対する支援体制の構築について、第三者評価では特に高い評価を頂きました。専門職や学習支援チーム、給食職員による食事支援、また「要望ノート」の活用、ホーム会議や自治会等により子どもたちからの意見を積極的に把握し、子ども本位の養育に努めました。
2	権利擁護の推進	B	子どもの権利ノートの読み合わせ等を実施しました。又、CAPの子ども向けワークショップを実施し、自他ともに大切にすることの大切さを学びました。更に性教育委員会や安全委員会による個別の時間を設けました。職員に対しては、権利擁護のワークショップやチェックリストによる自己評価を実施し権利擁護の啓発に努めました。
3	アセスメントと自立支援計画の有効活用	A	アセスメントの見直しを実施し、個々に適したより効果的な支援ができるように自立支援作成から周知、実施状況等一連の支援が連動するように改善しました。また、ホーム会議等で専門職を交えて、自立支援計画の見直しや評価を適宜行い職員間で情報を共有しながら、より実効性のある計画としました。
4	学習・進学支援・進路指導等の充実	B	学習指導員が中心になり学習支援を実施しました。小学生は学習支援が定着し学力の向上に繋がっています。中学生は学習指導員及びボランティアの協力もありましたが、高校受験は厳しい結果となりました。高校3年生は希望する進路を達成することができました。
5	専門職との連携とスーパービジョンの確立	A	各専門職が有機的に機能し養育支援の充実を図ることができました。特に行動上の問題を抱えた児童については専門職が中心となり養育支援を実施しました。又、直接処遇職員へのスーパービジョンを実施するなど職員への支援の充実を図りました。今後は外部の専門家によるスーパービジョン体制の確立を図ります。
6	里親や家族への支援	B	平成30年度より里親支援専門相談員を配置し里親の支援と児童の家庭生活体験の調整を図りました。家庭支援専門相談員は家庭や関係機関との連絡調整を担い、家庭訪問を実施するなど児童と家庭との円滑な関係作りを図ることができました。又、親子訓練室の活用を積極的に実施しました。

※評価 A・・・十分な取り組みができた B・・・ほぼ取り組めた C・・・取り組みが不十分であった

3-3) 自治会の開催状況

実施日	参加児童	参加職員	会 議 内 容
30. 4. 22	22	2	春休みの生活の反省 園遊会の役割分担について 村田心理士から(アンガーマネジメントについて)
30. 5. 27	23	6	園遊会の反省 大船渡市長杯について 安全委員会から
30. 6. 17	22	4	転地養護について 大船渡市長杯について 安全委員会から 卒園生から(自立するとは)
30. 7. 22	20	1	夏休みの行事・生活について 大船渡市長の反省 台風被害について
30. 8. 25	20	3	夏休み中の生活・行事の反省 安全委員会から ふれあいソフトボール大会について 藤の園運動会について
30. 9. 15	18	3	運動会の役割分担について リスクマネジメント委員会から BBS 球技大会について 福光園訪問について 園内スポーツ大会について
30. 10. 21	20	2	運動会・BBS 球技大会の反省 福光園訪問について 利用者アンケートの結果について報告 安全委員会から
30. 11. 18	22	1	安全委員会から 福光園訪問の反省 園内スポーツ大会について クリスマス会について 子どものクリスマス会について
30. 12. 23	22	4	安全委員会から クリスマス会の反省 子どものクリスマス会について 冬休みの生活について
31. 1. 27	18	3	安全委員会から 冬休みの生活の反省 3年生を送る会について 子どもの権利ノートについて
31. 2. 17	19	1	安全委員会から 3年生を送る会について 子どもの権利ノートについて 新役員の選出について
31. 3. 24	23	3	新役員紹介 新中1年生自己紹介 春休みの生活について 園遊会について

3-4) 一時里親事業の状況

	対 象 児 童	実 施 期 間	日 数	委 託 先	措置機関
夏 季	年長女兒	30. 08. 15 ~ 30. 08. 18	4	奥 州 市	一関児相
	小学2年男子	30. 08. 12 ~ 30. 08. 16	5	奥 州 市	一関児相
	小学5年男児	30. 08. 09 ~ 30. 08. 13	5	奥 州 市	宮古児相
冬 季	年長男子	31. 01. 05	1	奥 州 市	一関児相
	年長女兒	31. 01. 02 ~ 31. 01. 03	2	奥 州 市	一関児相
	小学2年男子	30. 12. 28 ~ 31. 01. 01	5	奥 州 市	一関児相
	小学4年男子	30. 12. 30 ~ 31. 01. 03	5	奥 州 市	一関児相
	小学5年男児	30. 12. 30 ~ 31. 01. 03	5	奥 州 市	宮古児相

3-5) 家庭生活体験事業

期 間	対 象 児 童	回 数	委託延日数	委 託 先
年 間	年長女兒	19	30	奥 州 市
年 間	小学2年男子	13	35	奥 州 市
年 間	小学5年男児	16	60	奥 州 市

3-6) 自立生活訓練の状況

実施期間	対象児	内 容	場 所	期 間
6月5日～7日	高校2年女児①	一定の生活費による生活訓練	ヨゼフホーム	3日間
6月16日～24日	高校3年女児①	〃	ヨゼフホーム	9日間
7月1日～29日	高校3年女児②	〃	ガブリエルホーム	29日間
8月5日～12日	高校3年女児③	〃	ヨゼフホーム	8日間
8月16日～18日	高校3年男児①	〃	ヨゼフホーム	3日間
9月12日～14日	高校2年女児②	〃	ヨゼフホーム	3日間
9月15日～30日	高校3年女児①	〃	ヨゼフホーム	16日間
10月10日～12日	高校3年男児①	〃	ヨゼフホーム	3日間
10月2日～7日	高校2年女児①	〃	ヨゼフホーム	6日間
10月14日～28日	高校3年女児④	〃	ヨゼフホーム	15日間
12月2日～8日	高校3年男児①	〃	アントニーホーム	7日間
1月7日～14日	高校3年男児①	〃	ヨゼフホーム	8日間
2月4日～6日	高校3年男児①	〃	ヨゼフホーム	3日間
2月13日・20日	高3男2名女4名	自立支援プログラム参加	和光学園	2日間

3-7) 機能強化推進対象事業の状況(1)

実施日	名 称	参加者	内 容
30. 4. 29	園遊会	200	地域の方々、里親等を招待して園遊会を実施しました。
30. 6. 24	大船渡市長杯球技大会 (参加児童32名、職員13名)	45	球技大会に参加し他の施設児童と交流を深めました。
30. 8. 12	卒園生との交流会 (卒園生9名、在園生他21名)	30	在園生と卒園生が野球を通じて交流を深めました。
30. 8. 26	ふれあいソフトボール大会 (参加児童34名、職員10名)	44	球技大会に参加し他の施設児童と交流を深めました。
30. 9. 23	岩手県BBS児童球技大会 (参加児童31名 職員12名)	43	岩手県BBS児童球技大会に参加し他の施設児童と交流を深めました。
30. 10. 08	運動会 (参加児童48名 来賓等92名)	140	施設の運動会に家族や地域の方々を招いて児童と交流を深めました。

3-7) 機能強化推進対象事業の状況 (2)

実施日	名 称	参加者	内 容
30.12.14	クリスマス会 (参加児童 46 名 来賓等 110 名)	156	地域の方々を招いてクリスマス会を行い交流を深めました。
年 間	スポーツ少年団の活動	5	年間を通して地域のスポーツ少年団に入団し地域との交流を図りました。
年 間	ユニット行事 (メンタルケア)		映画鑑賞、温泉入浴、スケート等各ユニットで行事を実施しました。
年 間	食育 (野菜の栽培)		食育の一環として、近隣の畑を借りて野菜を栽培しました。
年 間	ユニット行事 (自主献立)		各ユニットでメニューを考えて材料の購入、調理を実施しました。

3-8) 健康保健・性教育に関する活動状況

実施日	活 動 内 容	参加人数
30.6.6	基本感情の理解・いい言葉/わるい言葉	幼 児 4 職 員 6
30.6.8	からだを清潔に保つために プライベートゾーンと性行動のルールの確認	幼 児 4 職 員 6
30.6.13	いいタッチ/わるいタッチ・大切なあなた	幼 児 4 職 員 6
30.6.29	プライベートゾーンと性行動のルールの確認 いいタッチ/わるいタッチ	小学生 (男子) 10 小学生 (女子) 5
30.8.23	基本感情の理解 プライベートゾーンと性行動のルールの確認 いいタッチ/わるいタッチ	小学生 (女子) 1
30.10.28	プライベートゾーンと性行動のルールの確認	小学生 (女子) 1
30.12.25	性教育ポスターの作成	小学生 18
31.2.14	プライベートゾーンと性行動のルールの確認	小学生 15
31.2.18	プライベートゾーンと性行動のルールの確認 いいタッチ/わるいタッチ	幼 児 10
31.2.27	当たり前の生活が難しい子どもたち	職 員 31
31.3.9	女の子のからだところの守り方・自分のことを知ろう	小学生 (女子) 5 職 員 5
年 間	感染症対策委員会による活動。マニュアルの見直しや衛生管理の徹底静養室の改善や加湿器の設置、洗濯機や冷蔵庫の衛生管理の徹底	
年 間	看護師を配置し児童の健康管理に努めた。また予防接種の履歴を調査し未実施の場合は追加で実施した。インフルエンザの予防接種の実施	

3-9) 世代間交流

実施日	活 動 内 容	参加人数
30. 11. 10	特別養護老人ホーム訪問 特別養護老人ホームを訪問し歌やハンドベル、遊戯を披露しました。	40

3-10) 民区・地域との交流の状況

日 時	名 称	参加者	内 容
4. 15	一関市春の一斉清掃参加	30	地域の人たちと一斉清掃に参加
7. 28～29	民区山手ラジオ体操	30	民区のラジオ体操に児童と職員が参加
7. 28	民区山手縁日	40	民区の縁日に児童と職員が参加
7/7・20・27	神輿太鼓練習	20	施設体育館で祭り太鼓の練習に参加
8. 5	一関夏祭り子ども神輿	22	民区の神輿を担ぎ、市内を巡行
31. 3. 24	卒業生を送る会・新1年生歓迎会	16	小学生を中心に参加
年 間	職員が健全育成部に所属し地区懇談会や世話人会、民区行事、交通安全指導、夏の巡回指導等を実施しました。		

3-11) 親子訓練室（ヨゼフ寮）の利用状況

期 間	日 数	利用者	児童数	備 考
30. 4. 16～17	1泊2日	利用者の母親	1	親子で宿泊
30. 5. 25	1日	利用者の父親	2	親子で交流
30. 5. 25～28	3泊4日	利用者の父親	2	親子で宿泊
30. 12. 28～29	1泊2日	利用者の父親	2	親子で宿泊
31. 2. 9～10	1泊2日	利用者の父親	2	親子で宿泊
31. 3. 18～19	1泊2日	利用者の母親	2	親子で宿泊
31. 3. 26～27	1泊2日	利用者の父親	2	親子で宿泊

3-12) 進学支援の状況

対 象 児 童	進 学 先	備 考
平成30年度卒園児（女児）	北日本医療福祉専門学校（2年課程）	自 宅
〃	武蔵野調理師専門学校（1年課程）	学生寮
平成29年度卒園児（男児）	岩手県立産業技術大学校（2年課程）	学生寮
〃	北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ（2年課程）	自 宅

※ 進学率 平成30年度 33.3%（6名/2名） 平成29年度 100.0%（2名/2名）

3-13 病院受診の年度別の推移（延べ人数）

年度	受診科 内科 小児科	耳鼻科	歯科	眼科	外科	皮膚科	心療 内科他	計	率
30年度	260	76	94	42	28	119	72	691	140%
29年度	236	61	71	37	21	112	71	609	124%
28年度	254	56	101	31	36	70	76	624	127%
27年度	263	77	131	47	60	137	76	791	161%
26年度	250	45	135	36	38	58	44	646	131%
25年度	208	35	103	34	56	50	102	588	120%
24年度	135	40	84	29	45	68	91	492	100%

3-14 幼児の健康診断

月 日	児童数	医療機関	月 日	児童数	医療機関
30年 5月	6	菊池内科（内科検診）	30年 7月	9	久保田歯科（歯科検診）
30年 10月	7	〃	31年 3月	10	〃

3-15 予防接種の実施状況

年 月	予防接種の種類	対象児	対象人数
30年 5月	MR2期	幼児	3
30年 6月	日本脳炎	幼児	1
30年 7月	日本脳炎 二種混合	幼児 学童児	10
30年 8月	日本脳炎 二種混合	学童児	5
30年 9月	二種混合 麻疹風疹	学童児	3
30年 10月	インフルエンザ	幼児 学童児	18
30年 11月	インフルエンザ	幼児・学童児	51
30年 12月	日本脳炎	幼児	1
31年 1月	水痘 四種混合 麻疹風疹	幼児・学童児	10
31年 2月	水痘 日本脳炎 二種混合 麻疹風疹	幼児・学童児	10
31年 3月	水痘 日本脳炎	幼児・学童児	4
計			116

※インフルエンザ予防接種率 93.9%

3-16 心理療法の実施状況

内 容	心 理 療 法	心 理 検 査	生 活 面 接	職 員 へ の 助 言	ケ ー ス 会 議 等 へ の 出 席	※その他	計
回 数	351 (563)	26 (14)	219 (91)	114 (43)	98 (42)	196 (68)	1,004 (821)

3-17 食育の実施状況

月 日	内 容	対 象	参加児童数
30. 6. 23	「自分で食事を作ろう」 料理の楽しさを学び、手際良く片付けまで行う	男子小学生	2
30. 10. 8	「たのしく りょうりをつくろう」 あんぜんにきょうりょくしてちょうりする	男女小学生	3
30. 10. 20	「買い物をした材料で昼食作りに挑戦」 買い物で食材選び、献立に合った切り方などを学ぶ	女子小学生	3
30. 10. 30	「旬の食材を使って作ってみよう」 基本的な調理の仕方を身に付ける	男子中学生	3
30. 11. 24	「鍋を作ろう」 皆で協力して楽しく調理をする。手順を覚える	女子中学生	4
31. 2. 11	「みんなの為に食事をつくろう」 感謝の気持ちを食事で伝える、大量調理の経験	女子高校生	3

3-18 自主献立実施状況

ホーム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ミカエル												
フランシスコ			18								27	
ガブリエル	14	28	18、10	14		8	13	12	3、8		24	
ルカ	9	21、28	18				14		12		17	
ラファエル		6	9		11	8			8			
テレサ	23			15	11		29	18			23	
マリア	19	12	9	13、26		8	13	10	9	12	28	9

※自主献立は子どもの要望を聞いて献立を立て買い物から調理までを行うこと。

3-19 行事食の状況

月	行 事	献 立 名
4月	入学式 入園式 復活祭 園遊会	赤飯 刺し身 豚肉ステーキ ビビンバ丼 ちらし寿司 プリン 鶏骨付きもも フライドポテト 苺 ホットドック たこ焼き 焼き鳥 玉こんにゃく 焼とり 焼きそば他
5月	憲法記念日 みどりの日 こどもの日(バイキング) 開園記念日 運動会	エビフライ みそ汁 マッシュサラダ お浸し 果物 山菜ごはん とん汁 浅漬け フルーツヨーグルト 手巻き寿司 サンドイッチ 肉巻きアスパラ デザート(パフェ)他 柏餅 赤飯 なめこ汁 刺し身 肉じゃが お浸し(錦糸玉子) 紅白大福 のりまき いなりずし ポークウインナー 枝豆 卵焼き 果物 他
7月	七夕 海の日 バーベキュー 丑の日 手作りおやつ	七夕ビビンバ丼 春雨スープ 浅漬け フルーツポンチ 海鮮かき揚げ丼 すまし汁 浅漬け キューイ ご飯 焼き肉 焼き野菜 ジュース うなぎ 入り牛蒡 ソルダム スイカゼリー
8月	夏祭り (ボランティア来園)	おにぎり 流しソーメン わた飴 フランクフルト かき氷 他
9月	防災の日 BBQ (ボランティア来園) 焼肉招待 幼稚園運動会 十五夜 敬老の日	パックごはん けんちん汁(缶詰) 焼き鳥(缶詰) 乾パン 焼肉 焼き魚 ひつまぶし カニ汁 野菜炒めカレー風味 カクテルジュース ポップコーン マスカット りんご 他 焼肉 ジュース 他 のりまき いなり寿司 唐揚げ ウインナー 卵焼き ぶどう 梨 他 滝見だんご 枝豆 栗 りんご さつま芋 梨 ぶどう 他 ちらし寿司 芋の子汁 フルーツポンチ
10月	運動会 体育の日 防災訓練	寿司弁当 ジュース ぶどう 栗ごはん 芋の子汁 浅漬け フルーツポンチ パックご飯 中華丼の素(非常用) ウインナーと野菜のスープ(缶詰)
11月	文化の日 (ボランティア来園) 勤労感謝の日	さつま芋ご飯 豚汁 浅漬け フルーツヨーグルト 寿司弁当 吸い物 フルーツ杏仁豆腐
12月	サンタニコラオ 冬至 藤の園クリスマス会 天皇誕生日 クリスマスイブ クリスマス会 大みそか	手作りサンタクッキー りんご 小倉南瓜 太巻き寿司 稲荷寿司 サンドイッチ オードブル 他 ミートソース カルピス キウイ ちらし寿司 プリン 鶏骨付きもも かきたま汁 マッシュサラダ 他 寿司 ピザ サンドイッチ フライドポテト サラダ ケーキ 果物 他 そば汁 尾頭付鯛 煮しめ 口取り スルメ オードブル 他
1月	お正月 七草 鏡開き 成人の日 鍋の日	雑煮餅 お刺身 紅白なます 黒豆 伊達巻 刺し身 エビフライ 他 もち献立…雑煮 納豆 あんこ きな粉 紅白なます みかん ちらし寿司 なめこ汁 フルーツポンチ 寄せ鍋 果物
2月	節分 手作りおやつ 卒園生希望献	恵方巻き みそ汁 鬼の鉄棒ケーキ 豆まき どらやき 唐揚げ丼 中国ラーメン 手作りハンバーグ
3月	卒園生希望献 ひなまつり (三送会バイキング) 卒業式 卒園式 東日本震災の日 春分の日	かき揚げ丼 カレー・ナン 手巻き寿司 ピザ 塩焼きそば チーズスティック フライドチキン 他 赤飯 刺し身 天ぷらうどん 豚肉ステーキ 苺 他 α米五目ごはん インスタントみそ汁 きんぴらごぼう(缶詰) パナナ かき揚げ丼 あさり汁 白玉だんご

4. 人事・労務・人材育成関係

【平成 30 年度人事・人材育成の総括】

平成 30 年度は、4 人の新職員を迎え 40 人の職員でスタートしました。期中において 3 名の職員が退職し平成 31 年 1 月に 1 名が産前休暇、3 月末には自己都合により 6 名の職員が退職しました。採用は 5 月に 1 名(保育士：パート職員)、平成 31 年 1 月に看護師 1 名を採用しました。募集しても職員の確保ができず、年明けにインフルエンザに罹患する職員が相次ぎ職員のやり繰りに苦労した 1 年でした。職員の人材の確保・育成・定着が大きな課題であることから平成 31 年度の採用に向けて、実習生及び地元出身の学生を中心に採用活動を積極的に進め人材の確保に努めました。

人材の育成については、職員間の協力のもと外部研修に積極的に職員を派遣するとともに内部研修についても職員のニーズに合わせた研修テーマを選び研修を実施しました。

第三者評価の結果からも人材の確保・養成が 42.9%と低いことから人事管理の体制を整備し具体的な計画を作成したうえで人材の育成に努めます。

4-1(1) 平成 30 年度人事・労務・研修の重点施策の評価

	重点施策項目	※評価	具体的成果や課題
1	職員の 人 材 確 保	B	期中の退職者の補充のために職員を募集しましたが人材の確保には至りませんでした。目標とする養育支援の質の確保に向けて、人事管理計画を作成し計画に沿った人材の確保に努めていきます。
2	総合的な人事管理の仕組みづくり	C	総合的な人事管理の仕組みづくりについては、業務管理シートによる進捗状況を把握する準備はあるものの実効性のあるものとはなっていません。今後は職務成果等を評価できる制度の構築に努めます。
3	メンタルヘルスケアの推進	B	産業保健相談員の藤井氏を招いて、ラインスタッフと全職員向の職場のメンタルヘルスについて理解を深めました。また、全職員と園長面談を実施するなど職員の意向や職場での悩み等について話し合いをしました。
4	働きやすい職場づくりの推進	B	適正な人員配置をすることができず職員が望むような労働環境には至っていません。今後、必要な人材を確保するとともに職員の意向を反映して更に働きやすい、やりがいのある職場になるよう努めていきます。

※評価 A・・・十分な取り組みができた B・・・ほぼ取り組めた C・・・取り組みが不十分であった

4-2) 職員の状況 (平成31年3月31日現在)

職 種	園長	事務員	指導員	保育士	栄養士	調理員	F S W	個別	心理	看護師	里親	他	合計
正 職 員	1	1	11	8	1	2	1	1	1	1	1		29
嘱託職員				1						1			2
パ ー ト				3		1						4	8
現 員 数	1	1	11	12	1	3	1	1	1	2	1	4	39

【平成30年度採用者】

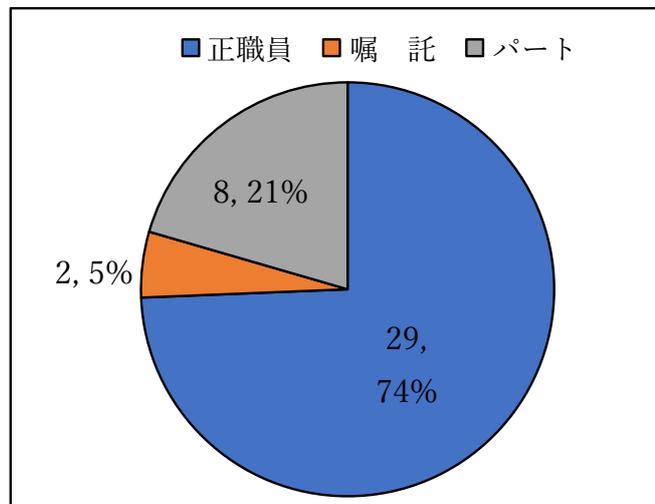
- ・ 児童指導員 1名 (学卒：正職員：平成30年4月1日付) ・ 保育士 2名 (正職員：平成30年4月1日付)
- ・ 調理員 1名 (学卒：正職員平成30年4月1日付) ・ 保育士 1名 (パート：平成30年5月1日付)
- ・ 看護師 1名 (正職員：平成31年1月1日付)

【平成30年度退職者】

- ・ 児童指導員 1名 (正職員：自己都合：7月31日付) ・ 調理員 2名 (パート：自己都合)
- ・ 児童指導員 3名 (正職員：自己都合：3月31日付) ・ 保育士 1名 (正職員：自己都合：3月31日付)
- ・ 看護師 1名 (嘱託職員：自己都合：3月31日付) ・ 学習指導員 1名 (パート：自己都合：3月31日付)

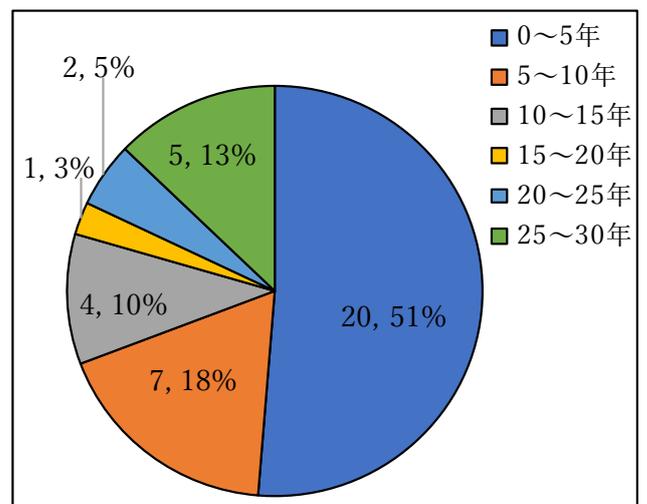
4-3) 職員数の推移 (平成31年3月31日現在)

年 度	正職員	嘱 託	パート	計
30年度	29	2	8	39
29年度	28	1	11	40
28年度	25	1	12	38
27年度	20	10	9	39
26年度	18	10	10	38
25年度	18	9	6	34



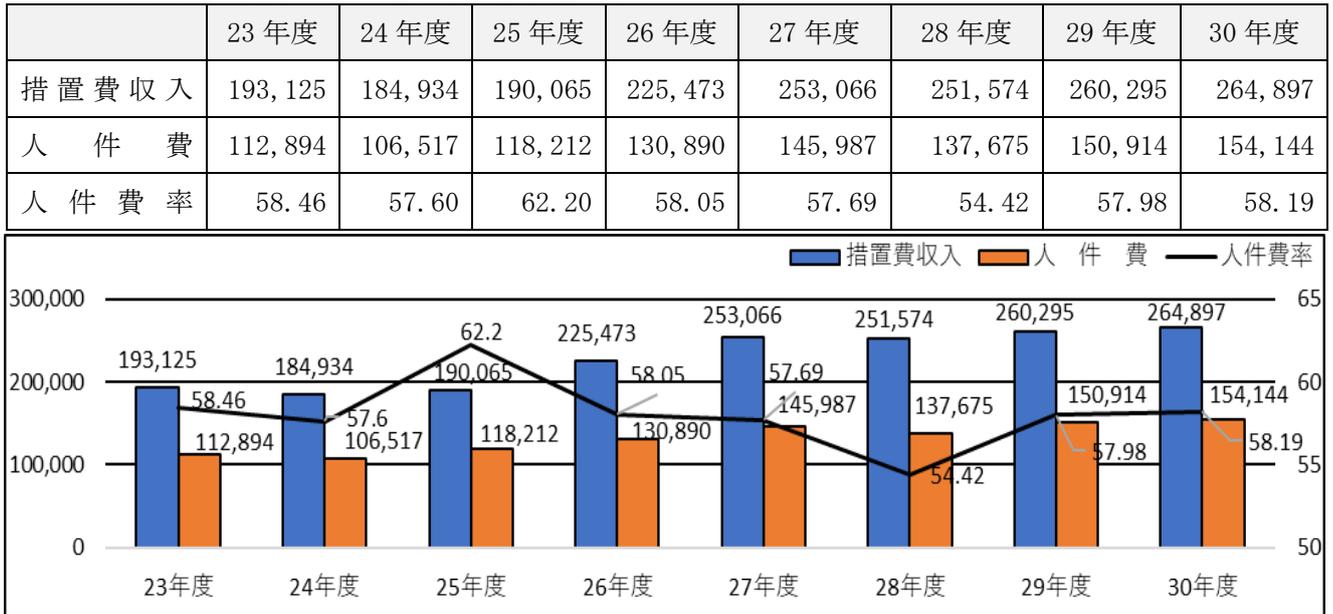
4-4) 職員の経験年数 (平成31年3月31日現在)

経験年数	男	女	計	率
0～5年	4	16	20	51%
5～10年	2	5	7	18%
10～15年	2	2	4	10%
15～20年	0	1	1	3%
20～25年	1	1	2	6%
25～30年	1	4	5	12%



4-5) 人件費の推移 (事業活動収支計算書より)

(単位：千円)



4-6) 内部研修の状況

日時	研修名	参加者	研修内容
30. 5. 16	市販薬について～くすりを選ぶ～ (講師：薬剤師 斉藤 宏一氏)	32	薬剤師から一般用医薬品の取り扱いについて学んだ。
30. 5. 23	第三者評価 評価基準研修会 (講師：県社協 菊池 伸哉氏)	29	第三者評価受審の目的と効果等について学んだ。
30. 5. 30	ヒヤリハット事例の検証 (リスクマネジメント委員会)	28	前年度の検証をして、敷地内の危険箇所について共通認識を持った。
30. 6. 20	CAP職員向けワークショップ (講師：CAP岩手)	27	職員を対象にCAP岩手によるワークショップを実施した。
30. 6. 20	いきいきと働ける職場づくり (講師：カウンセラー 藤井 由里氏)	32	メンタルケアのためのストレス対処法セルフケアについて学んだ。
30. 6. 27	子どもの権利ノートの読み合せ。人権擁護のためのチェックリストについて	26	グループ毎に権利ノート及びチェックリストについて理解を深めた。
30. 7. 18	メンタルヘルス～管理監督者の役割～ (講師：カウンセラー 藤井 由里氏)	14	主任職員を対象にメンタルヘルス対策におけるリーダーの役割を学ぶ。
30. 10. 25	感染症及び施設でできるその予防 (講師：嘱託医 菊池内科医院)	24	インフルエンザなどの感染症予防対策とその対応について学ぶ。
30. 11. 14	里親制度・里親支援について (里親支援専門相談員)	22	里親制度を理解し、今後の里親支援について学ぶ。
31. 2. 13	聖書研究～基本理念の理解を深める～ (講師：神父 佐藤 守也氏)	35	カトリック精神と基本理念である祈りと感謝について理解を深めた。

4-(7) 外部研修の状況

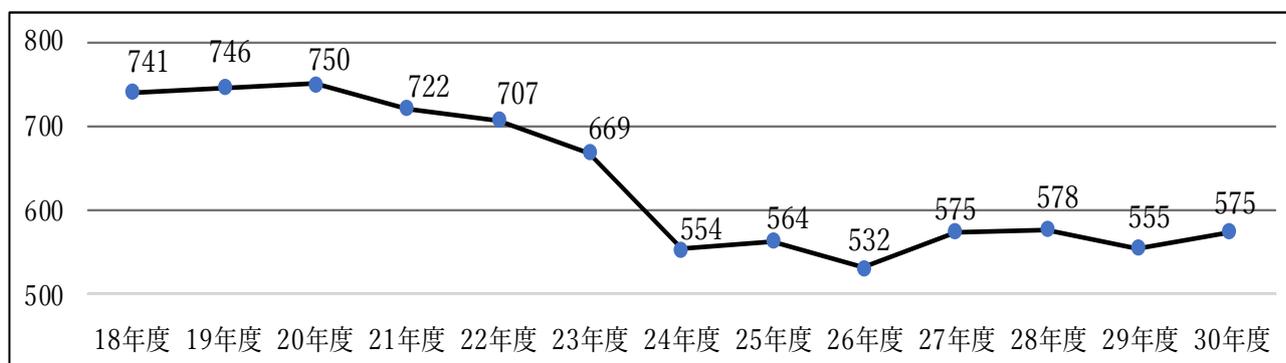
日 時	研 修 名	主催団体名	開催場所	参加職員名
5. 11	条件反射制御法関東研修会	条件制御法学会	東京都	村田
5. 24	東北B施設長研修会	東北B児童養護施設協議会	盛岡市	渡部
6. 13～14	キャリアパス研修（管理者）	県社会福祉事業団	盛岡市	佐藤道
6. 14～15	東北B児童養護施設研究協議会	東北B児童養護施設協議会	福島県	千葉美他 3名
6. 23～24	スポーツ少年団認定員養成講習会	公益財団法人日本体育協会	盛岡市	遠藤玄
6. 28～29	日本カトリック全国研修会	日本カトリック児童施設協議会	横浜市	渡部
6. 30～7. 1	災害派遣福祉チーム員登録研修	岩手県災害福祉広域支援推進機構	紫波町	石川他 1名
7. 2	自己評価・第三者評価研修会	岩手県社会福祉協議会	滝沢市	佐藤道
7. 10～11	キャリアパス研修（新任者）	県社会福祉事業団	盛岡市	佐藤つ
7. 11～12	新任施設長研修会	全国社会福祉協議会等	東京都	渡部
7. 17～18	キャリアパス研修（新任者）	県社会福祉事業団	盛岡市	菅原他 1名
8. 30～31	キャリアパス研修（中堅職員）	県社会福祉事業団	盛岡市	古村他 2名
8. 31	多職種症例検討会	いわて子どもケアセンター	盛岡市	千葉奨
9. 4～5	東北カトリックB職員研修会	東北Bカトリック児童施設協議会	秋田市	渡部他 2名
9. 30	未委託里親交流研修会	岩手県里親会	盛岡市	佐藤道
10. 4～5	東北B児童養護施設専門職研修会	東北Bカトリック児童施設協議会	花巻市	千葉幸他 3名
10. 11～12	岩養協事務福利厚生部研修会	県児童養護施設協議会	福島県	佐藤他 2名
10. 16～19	全国児童養護施設長研究協議会	全国児童養護施設協議会	札幌市	渡部
10. 17	子どもの育ちをつなぐテリング研修会	善友乳児院	盛岡市	千葉美
10. 18～20	施設職員交流研修会	藤聖母園	青森市	千葉真他 2名
10. 30～31	安全委員会全国大会	全国安全委員会協議会	山形市	平他 2名
10. 30～31	キャリアパス研修（Tリーダー編）	県社会福祉事業団	盛岡市	石川
10. 31	社会的養護自立支援事業説明会	子育て支援課	盛岡市	佐藤麻
11. 2	児童協施設間交流研修	岩手県児童福祉施設協議会	盛岡市	千葉麻他 2名
11. 13	マネジメント力を高める研修会	県社会福祉事業団	盛岡市	千葉幸
12. 1	岩手県里親交流研修会	岩手県里親会	盛岡市	佐藤道
12. 17～18	児童養護施設等基幹的職員研修会	岩手県	盛岡市	遠藤玄他 1名
12. 18	発達障害のある子どもの家族支援講演会	子どもケアセンター	紫波郡	千葉美
1. 7～12	社会福祉施設長資格認定講習課程	中央福祉学院	葉山町	渡部
1. 12～14	SBI 児童養護施設職員研修会	SBI 子ども希望財団	東京都	小野寺雄
1. 21～22	ファミリーソーシャルワーク研修	全国社会福祉協議会	東京都	千葉美
1. 24～25	児童養護施設等基幹的職員研修会	岩手県	盛岡市	遠藤玄他 1名
2. 4～5	関東B児童養護施設事務職員研修	関東B児童養護施設協議会	神奈川県	佐藤麻
2. 5～6	全体研修会	県児童養護施設協議会	花巻市	渡部他 4名

5. 入所児童に関する統計

5-1) 初日在籍数

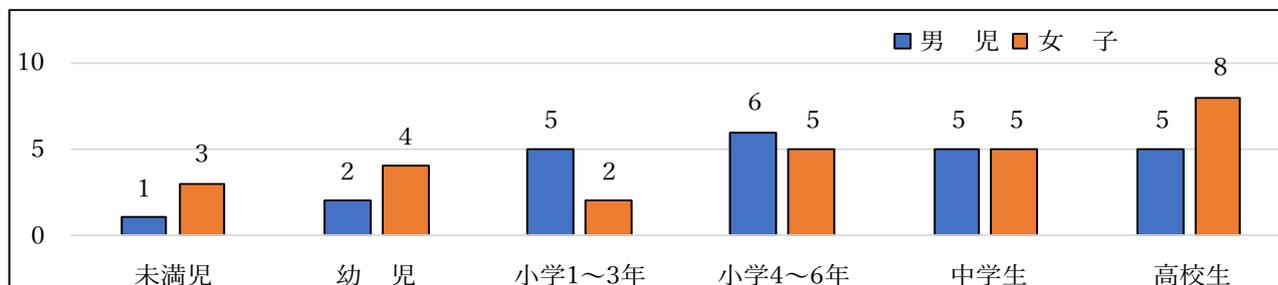
区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日在籍数	45	46	46	47	47	48	49	49	49	49	49	51	575
3歳未満児	1	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	4	22
年少児	5	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	10	83

5-2) 年度別初日在籍数の推移



5-3) 学年別の内訳（平成31年3月1日現在）

	未満児	幼児	小学1~3年	小学4~6年	中学生	高校生	計
男児	1	2	5	6	5	5	24
女子	3	4	2	5	5	8	27
計	4	6	7	11	10	13	51



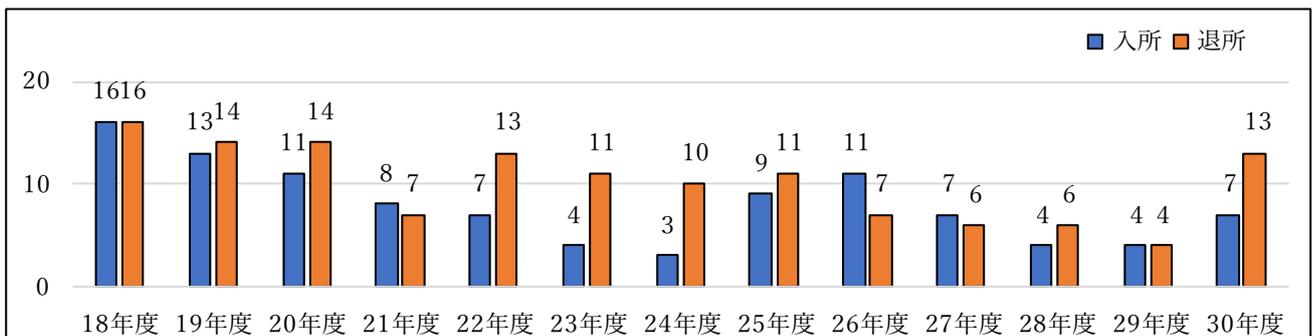
《高校通学先》

一関第二高等学校 一関工業高等学校 花泉高等学校 千厩高等学校 一関清明支援学校高等部

5-4) 平成30年度入退所の状況

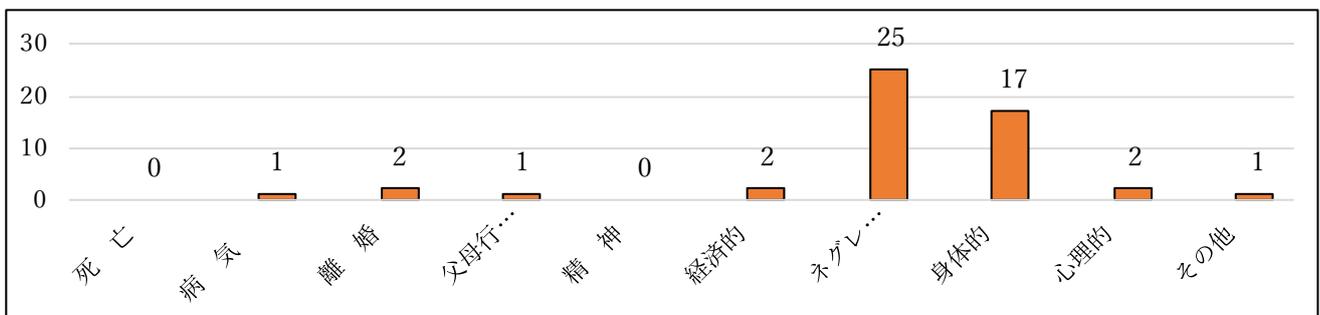
区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3	7
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12	13

5-5) 年度別入退所の推移



5-6) 入所原因別内訳（平成31年3月1日現在）

理由	死亡	病气入院	離婚	父母行方不明	精神障害	経済的破綻	ネグレクト	身体的虐待	心理的虐待	その他	計
児童数	0	1	2	1	0	2	25	17	2	1	51
比率	0.0	2.0	4.0	2.0	0.0	4.0	49.0	33.0	4.0	2.0	100.0



児童の入所理由は、何らかの虐待を経験した児童が8割を超えています。身体的・精神的な疾患を抱えている児童も5割を超えていることから個別的な一人ひとりに合った養育支援が求められています。単親家庭は4割、乳児院からの措置変更により入所した児童は3割弱となっています

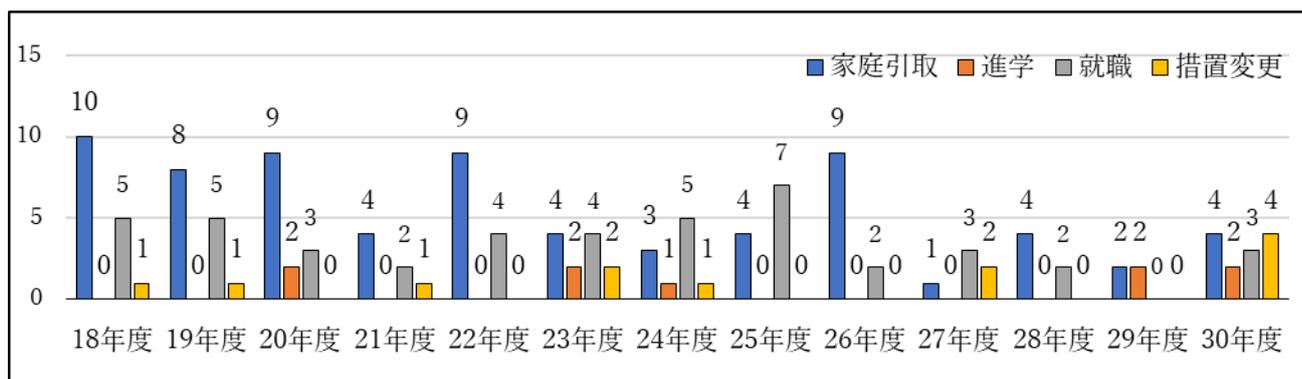
「新しい社会的養育ビジョン」では、里親委託率を3歳未満児は5年以内に、3歳以上児は7年以内に75%、このため就学前の幼児は施設入所を原則停止とすることが盛り込まれました。施設にはより家庭的な養育が求められ、施設の小規模化及び地域分散化を進められることになっています。

5-(7) 退所原因別内訳

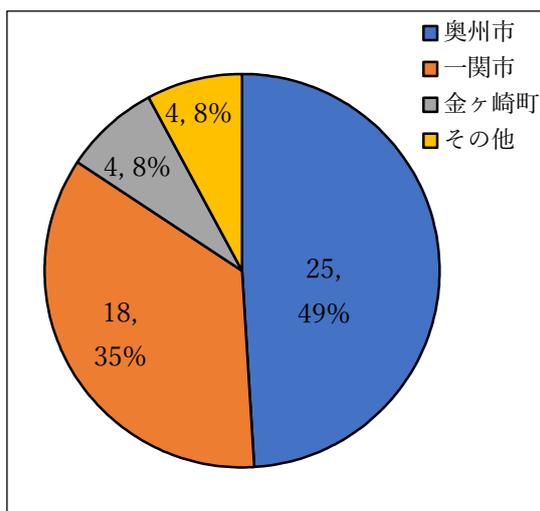
理由	家庭引取	進学	就職	措置変更	計
児童数	4	2	3	4	13

※ 措置延長予定児1名

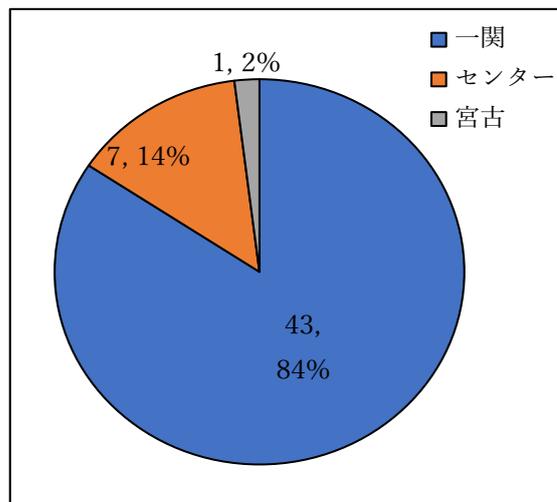
5-(8) 年度別退所原因別内訳の推移



5-(9) 出身市町村別・児相別内訳 (平成31年3月1日現在)



【出身市町村別内訳】



【児童相談所別内訳】

5-(10) 在園期間の内訳 (平成31年3月1日現在)

	0~1年	1~2年	2~3年	3~4年	4~5年	5~6年	6~7年	7~8年	8~9年	9年以上	計
男児	2	2	2	3	4	4	0	1	1	5	24
女児	5	1	1	2	4	5	0	0	2	7	27
計	7	3	3	5	8	9	0	1	3	12	51
率	13.7	5.9	5.9	9.8	15.7	17.6	0.0	2.0	5.9	23.5	100.0

6. 設備・修繕・保守の状況

6-(1) 固定資産関係

(単位：円)

取得年月	資 産 名	数量	取得価格	勘定科目	業 者 名
30. 12. 3	体育館冷暖房設備	1	5,000,000	建 物	鈴木製板 (株)
30. 12. 3	ヨゼフ寮改修工事	1	6,887,240	〃	〃
30. 12. 4	遊具 (ジャングルジム)	1	1,234,440	構築物	オノデラ教材
30. 12. 4	遊具 (枕木クライミング)	1	2,062,800	〃	〃
30. 12. 4	人口芝 (枕木クライミング)	1	711,180	〃	〃
31. 3. 26	フェンス更新	1	2,600,000	〃	鈴木製板 (株)
30. 9. 14	エアコン (心理プレイルーム)	1	143,100	器具・備品	(株) カメイ
30. 9. 14	エアコン (心理面談室)	1	103,140	〃	〃
30. 12. 3	エアコン (ヨゼフ寮2階)	1	212,760	〃	鈴木製板 (株)
31. 2. 19	本棚 (図書室)	1	959,040	〃	〃

6-(2) 修繕・車輛・業務委託関係

(単位：円)

年 月	修理・修繕名	支出額	勘定科目	業 者 名
30. 11. 15	車検代(ステップ)	108,739	車両費支出	旭自動車工業 (株)
30. 11. 20	スタットレスタイヤ (2台)	146,600	車両費支出	タイヤ館一関
30. 12. 13	スタットレスタイヤ(1台)	88,560	車両費支出	旭自動車工業 (株)
30. 12. 14	ワックス清掃	139,320	業務委託費支出	寿広
31. 2. 25	潜熱改修ヒーター部品交換	99,360	修繕費支出	大成温調 (株)
31. 3. 15	浄化槽汚泥処理	114,750	業務委託費支出	セレクトクリーン花泉 (有)

6-(3) 設備保守関係

年 月	保 守 点 検 名	業 者 名	備 考
毎 月	エレベーター保守点検	(株) 日立ビルシステム東北支社	異常なし
毎 月	浄化槽保守点検	セレクトクリーン花泉 (有)	〃
毎 月	冷暖房設備保守点検	大成温調 (株)	〃
年 2 回	消防機器設備保守点検	旭電通 (株)	〃
	電気設備保守点検	電気保安協会	〃
	パソコンネットワーク保守他	エクナ (株)	〃

7. 年間主要行事

月	園行事	学校・民区行事	その他
4	一斉清掃 園遊会 消防点検	入学式（小・中学校他） 授業参観（中学校他） 小学校情報交換会	岩養協各専門部主任会議 岩養協幹事会
5	子どもの日 開園記念日 マリア祭	民区懇談会（小・中学校） 民区廃品回収 運動会（小・中学校）	法人理事会 児童養護東北ブロック総会 児福協幹事会
6	安全委員会 大船渡市長杯球技大会	遠足（小学校） 中・高総体 第1期考査（高校）	東北ブロック児養協研修会 児福協幹事会 一関児童相談所との協議会
7	転地養護（南三陸町） プロレス招待 乳児院訪問 ラジオ体操	授業参観（小、中学校） 個人面談（幼稚園） 山手民区縁日 夕涼み会	里親推進会議 児童協専門委員会 岩養協職員研修 職員面談
8	花山サマーキャンプ ふれあいソフトボール大会 卒園生との交流会 ライオンズ夏祭り	一関夏祭り子ども神輿 地区駅伝大会（中学校） 夏休み作品展（小学校） 連絡協議会（小学校）	岩養協幹事会 要対協実務者会議 福祉避難所会議 刈払機講習会
9	焼肉招待 BBS球技大会 BBQ 楽天招待	新人体育大会（中学校） ふれあい参観（小学校） 第2期考査（高校） 運動会（幼稚園）	指導監査 岩養協給食主任会議 東北B新任職員研修 児童協研修
10	運動会 工場見学 NHKの取材 第三者評価訪問調査	遠足（幼稚園） 中間テスト（中学校） 文化祭 民区防災訓練	全国施設長研究協議会 安全委員会全国大会 児童協施設間交流会 指導監査
11	餅つき体験 福光園慰問 待降節 CAPワークショップ	職場訪問（幼稚園） 生徒総会（中学校） 学期末考査（中学校・高校）	安全委員会全国大会 第三者評価訪問調査 要対協実務者会議 法人理事会
12	サンタニコラオのお祝い クリスマス会 年末年始一時帰省 年越し	三者面談（中学校） クリスマスお遊戯会（幼稚園） 餅つき（幼稚園） 授業参観（小学校）	岩養協広報部主任会議 岩養協幹事会 家庭的養護推進検討会 里親会交流研修
1	新年挨拶・お年玉 県のヒアリング 節分豆まき	3学期始業式 個別面談（幼稚園） 新入児一日入学	基幹的職員研修 FSW研修 地域福祉計画推進会議
2	エンジェルサポート研修 花山スノーキャンプ 里親との交流会	新入園児面接（幼稚園） 民区PTA総会 3学期考査（中学校・高校）	岩養協全体研修会 児童協専門委員会 事務職員研修
3	卒園生を送る会 ひなまつり ホーム異動	授業参観（小学校） 公立高校入試 3学期終業式、卒業式	法人理事会 岩養協幹事会 里親委託推進委員会

平成30年度一関藤保育園事業報告

1. 一関藤保育園保育理念・基本方針

◇社会福祉法人ふじの園基本理念・保育理念

『キリストの愛と光によって導かれた子どもたちの尊厳と幸福を目指します』

◇基本方針

キリスト教精神に基づき、可能性に満ちた一人ひとりの子どもたちは、より善いものを指向できる自由意志、美しい物に感動する豊かな感性を備えています。神から与えられたかけがえのない人格として受けとめ個々の与えられた内的、外的生命力を十分発揮できるように相互の人格を尊重し、他者の立場を理解し合うことにより、思いやりや豊かな社会性が身につくように育みます。

2. 施設運営の総括

平成30年度の運営費申請の対象となる園児数は、未満児クラスにおいて定員を若干上回り措置数は93名（障がい児の認定対象者1名を含む）。新採用者1名を加え配置基準を上回る職員体制でクラス運営に取り組みました。

保育内容については、年度はじめに保育課程を年齢ごとに再検討し、以上児クラス3・4・5歳児縦割クラスの運営については、その特徴を活かしきれていないことや横割り保育の必要性も考慮しながら保育の充実を心掛けました。

施設設備では、老朽化による修繕箇所が目立ってきており、園舎の建替えもあることから必要最小限度の工事を実施しました。

3. 設備・修繕関係

年月日	設備・修繕名	業者名	勘定科目	金額
H30.05.11	水洗部品交換	小野寺設備	修繕費	23,000
H30.05.17	子供用トイレ部品交換	小野寺設備	修繕費	9,000
H30.05.24	職員室ドア錠修理	協和木材	修繕費	11,340
H30.06.14	未満児用靴箱修理	協和木材	修繕費	12,000
H30.07.05	室内固定遊具補修	協和木材	修繕費	34,000
H30.07.17	AED(HS-1+)	ALSOK岩手	器具及び備品	324,000
H30.07.20	物置鍵交換	協和木材	修繕費	12,000
H30.07.24	保育室硝子修理	伊藤硝子	修繕費	4,806
H30.08.30	給食室吐水パイプ交換	小野寺設備	修繕費	16,000
H30.10.15	下水道詰り修理	小野寺設備	修繕費	7,400
H31.03.05	埋設給水管漏水修理	森燃	修繕費	57,000
	合計			510,546

4. 入所年齢別入所状況(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳児	5	5	5	6	7	7	7	8	9	9	10	10	88
1～2歳児	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
3歳児	22	22	21	22	22	22	22	22	22	22	22	23	264
4歳以上児	37	37	36	38	38	38	38	38	38	38	38	38	452
合計	93	93	91	95	96	96	96	97	98	98	99	100	1152

5. 入所の状況

イ 組別編成(平成31年3月31日現在)

組別	年齢	人数	保育士数
つぼみ組	0～1歳児	22	6
たんぼぼ組	2歳児	17	3
すみれ組	3歳児	11	2
	4歳児	9	1
	5歳児	10	1
ばら組	3歳児	12	1
	4歳児	9	1
	5歳児	10	1
合計		100	16

ロ 年齢別編成(平成30年4月1日現在)

組別	男	女	計
0～1歳児	8	10	18
2歳児	9	7	16
3歳児	8	14	22
4歳児	9	9	18
5歳児	11	8	19
合計	45	48	93

6. 保育事業の概要

○ 保育方針

キリスト教的情操教育を根底とし、あたたかい雰囲気の中で子ども独自の人格の発展性を主眼としたモンテッソーリ教育法を取入れ保育しました。

○ 保育実践内容

◎ モンテッソーリ教育

モンテッソーリ教具による個別指導を中心とした自由選択活動の環境を設定し、未満児は年齢別クラス、以上児は縦割クラスの中、午前中の保育時間に取り組み集中して活動に取り組むことで自己決定、自立へと導きます。

◎ 食育

食育は、楽しく食べる子どもに成長していくことを期待し、食べ物を選べる子・元気な体のわかる子・食べ物の育ちを感じる子・味のわかる子・料理のできる子を目指して行ないました。

◆食育・クッキング保育

年数回年長児を対象に栄養士、保育士と共に、実際に食材に触れ、調理器具を使用し調理実習を行ないました。子ども達自身で調理した料理をみんなで実食しました。

実施日	実施内容・メニュー	実施日	実施内容・メニュー
4月11日	稲の芽出し作業開始 (分別・消毒・浸漬)	11月5日	クッキーを作る(職場訪問用) ※ 卵不使用のもの 年中児がクッキングの見学
4月18日	種まき・おにぎりを作る (お米の紙芝居)	11月22日	もちつき誕生会 もちちぎり (あんこ・なっとう・雑煮)
5月9日	田んぼ作り		
5月22日	田植え・調味料の味見や調理器具を見る 箸の持ち方・4つのお皿についてのお話し	1月5日	絵本の読み聞かせ(年長)
6月19日	ハンバーグを作る 自己配膳の仕方を覚える(4つのお皿)	1月23日	家宝団子作り
9月28日	・稲刈り ・脱穀	2月14日	・おやつパーティー ・クラッカーのフルーツのせ ・ロールケーキ ・チョコプリン
10月12日	稲こき おはぎづくり(お月見/収穫感謝祭)※田んぼの片づけ	2月26日	カレー ・フルーチェ (きいろ・ふじグループ合同)
11月1日	箸指導(給食前)	3月19日	ふじグループリクエスト給食
11月2日	絵本読み聞かせ(年長)	3月22日	オワカレー(当たり付き)

セレクトパンメニュー (9種類の中から4種類を選択します)

たまごサンド	ハムカツサンド	フルーツサンド
メロンパン	クロワッサン	ジャムサンド
ドーナツ	あんぱん	クリームパン

◆リクエスト給食

料理の名前を覚えたり献立を考えたりすることで食への関心を深める。年長児が自分たちで献立を考え、実際に給食で食べる。

実施日	メニュー
3月19日	・鳥肉の照り焼き ・はるさめの中華和え ・コーンスープ・オレンジ

◎ 特別支援児保育事業

◆音楽療法

音楽を通して子どもの心を癒し、様々なセッションを行い楽しく参加することにより人と人との間で心理的なコミュニケーションを持てるように導きます。月1回第3水曜日 音楽療法士、特別支援専門員、保育士と実施しました。

実施内容	参加対象児	一関市教育委員会 教育相談対象児	5歳児	5名
・3歳児4歳児 5歳児混合セッション			4歳児	4名
・5歳児クラスセッション			3歳児	1名
・総合ミーティング		年長児	20名	

◆定期巡回相談

実施日	参加対象児		巡回相談員	
6月4日	一関市教育委員会 教育相談対象児	14名	特別支援コーディネーター	3名
			健康作り課主任保健師	1名

◆育児相談(年4回 スーパーバイザーによる育児相談を実施)

実施日	対象児	内 容
5月16日	5歳児	リズム・集団遊び
	職員	担当児カンファレンス
	職員研修	わらべ歌 指導
8月29日	5歳児	わらべ歌遊び(2歳児とのふれあい遊び)
	5歳児	リズム
	職員	担当児カンファレンス
	職員研修	わらべ歌指導
10月24日	4歳児	キッズ・ステップ教室
	担当職員	発達スキル検討ミーティング
	職員研修	担当児カンファレンス
2月27日	4歳児	リズム (うさぎ、縦ギャロップ・とんぼ) よさこいソーラン わらべ歌
	職員	クラス担任・関係職員とのカンファレンス

◎ 保育所地域活動事業

○ 老人施設訪問等世代間交流事業

目的 子どもの少子化、核家族化、高齢化社会が加速しつつある現代社会の中で子どもが家庭、地域社会で高齢者との生活、ふれあい、関わりの場が狭められ希薄になっている。高齢者への思いやり、敬愛が育たない状況の中で、機会を捉えてふれあいの場や交流の場を持ち、喜びを共有し思いやり、優しさを育む体験の場とすることを目的とする。

実施状況

実施時期等	実施場所	参加人数
H30年6月27日(水) AM10:00~11:00	福光園デイサービスセンター	園児20名 引率者 園長 齋藤志華子 担任 千葉 友子 担任 小野寺未歩
<p>◎福光園デイサービスセンター利用者との交流会</p> <p>9時45分送迎バス1台に園児20名乗車し10時到着。子ども達の元気なあいさつの後、「ドレミのうた」をメロディベルで演奏、「スマイル」の歌を発表する。利用者さんの間に子どもが座り、その後和やかにやりとりを楽しみ、お手玉遊びをする。その後一人ずつ紙コップを持って、ボール送りゲームをする。施設見学後、子供達手作りの「アサガオのペンダント」をプレゼントし、握手を交わし、利用者さんから子供達にお土産を頂き、11:00 お別れの挨拶をして降園となる。おじいちゃん、おばあちゃん方に優しく接しお話を楽しんだり、笑顔あふれる微笑ましい交流ができた。</p>		

実施時期等	実施場所	参加人数
H30年8月7日(火) AM10:00~11:00	明生園	園児20名員 引率者 園長 齋藤志華子 副園長 渡邊久美子 担任 千葉 友子 担任 小野寺未歩
<p>◎明生園利用者との交流会</p> <p>9:45送迎者4台に園児20名乗車し、10時到着。子ども達の元気な挨拶の後、「ドレミのうた」をメロディベルで演奏し、「スマイル」の歌を披露する。おじいさん、おばあさんがんの向かいに子どもたちが座る。園児一人ひとりと利用者さんの順で自己紹介を交わす。その後利用者さんとペアになり、「魚釣りゲーム」をする。皆大きな魚を釣ろうとおじいさん、おばあさんに声がけしたり、みんなで声援を掛け合いとても盛り上がり楽しい交流となった。ゲーム終了後子供達手作りの「アサガオペンダント」をプレゼントし、握手を交わし利用者さんから子供達にお土産を頂き11:00お別れの挨拶をして降園となる。</p>		

◎年間行事

	行 事			
4月	2 進級・入園の日	2 PTA 総会	12 手作り弁当の日	24 職員会議
	13 保育協議会総会	18 音楽療法	25 避難訓練	20 誕生会
	17 クッキング(年長)	27 布団持ち帰りの日		
5月	8 内科検診	11 手作り弁当の日	22 職員会議	30 音楽療法
	17 総合避難訓練	25 誕生会	16 保育指導	22 クッキング(年長)
	25 布団持ち帰りの日	28 マリア祭		
6月	1 交通安全教室	5 歯科検診	6 避難訓練	19 クッキング(年長)
	20 音楽療法	15 親子バス遠足	20 職員会議	23 誕生会
	プール開き	27 福光園交流会	29 布団持ち帰りの日	

月 別	行 事			
7 月	6 保育参観試食会(以上児)		18 避難訓練・音楽療法	20 誕生会
	24 職員会議	27	28 夕涼み会	3~5 体験学習(桜町中)
8 月	7 明生園交流会	24 避難訓練	29 保育指導	22 音楽療法
	23 職員会議	31 布団持ち帰り・誕生会	27~31 体験学習(一関中)	
	17~30 修紅短大生実習	21~31 保育実習(盛岡短大)	28~9/14 保育実習(修紅短大)	
9 月	14 運動会総練習	14 手作り弁当の日	16 運動会	20 音楽療法
	21 誕生会	22 職員会議	27 避難訓練	29 布団持ち帰りの日
10 月	3 交通安全教室	12 クッキング(年長)	11 手作り弁当の日	25 職員会議
	17 音楽療法	30 総合避難訓練	19 誕生会	26 布団持ち帰りの日
	24 保育指導	1~5 個人面談		
11 月	2 内科検診	5 クッキング(年長・年中見学)		
	7 職場訪問(年少・年中・年長)		9 未満児参観・試食会	16 職員会議
	15 七五三	22 もちつき誕生会	21 音楽療法	30 布団持ち帰りの日
	19 ~待降節	28 避難訓練		
12 月	1 避難訓練	6 ニコラオのお祝い	13 手作り弁当の日	19 音楽療法
	12・13 お遊戯会総練習	15 クリスマスお遊戯会	18 職員会議	21 誕生会
	28 布団持ち帰りの日	29・30・31 年末休み		
1 月	1.2.3.年始休み	23 クッキング(年長)	10 手作り弁当の日	22 職員会議
	16 音楽療法	18 誕生会	23 職員会議	24 避難訓練
	28 布団持ち帰りの日			
2 月	1 節分	6 音楽療法	7 手作り弁当の日	12 卒園記念写真撮影
	21 誕生会	14 おやつパーティー	15 職員会議	13 避難訓練
	26 クッキング(年長)	22 布団持ち帰りの日	12~26 保育実習(修紅短大)	
	28 音楽療法	18~20 ボランティア(東北福祉大)		
3 月	8 ひなまつり誕生会	6 避難訓練	8 手作り弁当の日	22 園内お別れ会
	23 卒園式	6 音楽療法	22 布団持ち帰りの日	
	28・29 新年度準備	20 職員会議		

7. 職員の研修の状況

研 修 会 名	実 施 日	研修地	参加者
社会保険新任研修事務担当者研修会	4月18日	奥州市	佐藤桂
日本カトリック保育施設職員研修会	5月30日～6月1日	福岡市	斎藤志華子他2名
リスクマネジメント講座	6月4日	盛岡市	千田美夕紀
新任研修保育士就業継続支援研修会	6月5日	盛岡市	阿部沙知
苦情セミナー研修会	6月18日	盛岡市	渡邊久美子
幼稚園教諭免許更新	7月28・29日	仙台市	千田美夕紀他2名
日本モンテッソーリ協会全国大会	8月1～4日	仙台市	千田美夕紀他1名
幼稚園教諭免許更新	8月17・18・19日	仙台市	千田美夕紀他2名
保育士キャリアアップ研修(食育・アレルギー対応)	8月11・12・13	滝沢市	佐藤美希
カトリック施設理事長園長研修会	8月24日	東京都	斎藤志華子他1名
保育士キャリアアップ研修(障害児保育)	8月27・28日	滝沢市	菅原亜耶
保育士キャリアアップ研修(保健衛生・安全対策)	8月31日 9月1・2日	滝沢市	小野寺未歩
感染症及び食中毒予防対策研修会	9月3日	盛岡市	守屋智咲
児童福祉施設におけるクッキング講座	9月6日	盛岡市	夏堀綾香
保育士キャリアアップ研修(マネジメント)	9月7・8・9日	滝沢市	渡邊久美子
保育士キャリアアップ研修(乳児保育)	9月21・22・23日	滝沢市	佐藤宏美
保育士キャリアアップ研修(保護者支援・子育て支援)	9月28月・29・30日	滝沢市	千田美夕紀
東北ブロックカトリック研修会	11月5・6日	山形市	斎藤志華子他3名
県南振興局研修	11月16日	北上市	佐藤美希
保育研究大会研修	12月14日	盛岡市	佐藤美希他1名
保育士キャリアアップ研修(保健衛生・安全対策)	1月5・6・16日	奥州市	千田美夕紀他4名
社会福祉法人会計・経営セミナー	1月21日	盛岡市	斎藤志華子他2名
保育士キャリアアップ研修(マネジメント)	2月1・2・3日	奥州市	千田美夕紀他1名
保育士キャリアアップ研(保護者支援・子育て支援)	2月15・16日	奥州市	渡邊久美子他3名
保育士キャリアアップ研修(食育・アレルギー対応)	3月14・16・17日	奥州市	渡邊久美子
園内モンテッソーリ研修	週1回	保育園	全職員
保育指導園内研修	週1回	保育園	全職員

8. 一関地区保育協議会分科会研修

分科会	実施日	参加者	分科会	実施日	参加者
園長	5月10日	斎藤志華子 渡邊久美子	特別支援	9月27日	石川京子 佐藤宏美
5歳児	6月5日	小野寺未歩	未満児	10月2日	宮本香
人間関係	6月12日	菅原亜耶	事務	10月16日	佐藤桂
給食	6月14日	佐藤美希 夏堀綾香	保健衛生	10月18日	岩淵呼小夏
主任	6月18日	千田美夕紀 佐々木利恵	園長	10月25日	渡邊久美子
環境	6月19日	菅原優奈	主任	10月29日	千田美夕紀 佐々木利恵
健康	6月22日	及川源一郎	言葉	11月1日	佐々木美沙
特別支援	6月26日	石川京子 佐藤宏美	人間関係	11月8日	菅原亜耶
表現	7月3日	守屋智咲	5歳児	11月12日	千葉友子 菅原未歩
未満児	7月4日	阿部沙知	給食	11月15日	佐藤美希 夏堀綾香
事務	7月10日	佐藤桂	表現	11月22日	守屋智咲
主任	8月30日	千田美夕紀 佐々木利恵	健康	11月26日	及川源一郎
言葉	9月4日	佐々木美沙	環境	11月27日	菅原優奈
5歳児	9月11日	千葉友子 小野寺未歩	特別支援	12月3日	石川京子 佐藤宏美
人間関係	9月13日	菅原亜耶	保健衛生	1月24日	岩淵呼小夏
表現	9月18日	守屋智咲	事務	1月22日	佐藤桂
健康	9月26日	及川源一郎			